

新しい情勢下の党内政治生活に関する若干の準則

中国共産党党内監督条例



中央编译出版社
Central Compilation & Translation Press

新しい情勢下の党内政治生活に関する若干の準則

中国共産党党内監督条例

二〇一六年十月二十七日、中国共産党
第十八期中央委員会第六回全体会議にて採択

中共中央編訳局 訳



中央编译出版社
Central Compilation & Translation Press

图书在版编目(CIP)数据

关于新形势下党内政治生活的若干准则 中国共产党党内监督条例：
日文 / 中共中央编译局译. —北京：中央编译出版社，2017.1
ISBN 978-7-5117-3258-3

I. ①关… II. ①中… III. ①中国共产党—政治生活—条例—日文
②中国共产党—监察—条例—日文 IV. ① D261.4 ② D262.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2017) 第 002653 号

关于新形势下党内政治生活的若干准则 中国共产党党内监督条例(日文)

出版发行：中央编译出版社

地 址：北京西城区车公庄大街乙 5 号鸿儒大厦 B 座 (100044)

网 址：www.cctphome.com

印 刷：北京紫瑞利印刷有限公司

开 本：787 毫米 × 1092 毫米 1/16

版 次：2017 年 1 月第 1 版第 1 次印刷

定 价：58.00 元

目次

中国共産党第十八期中央委員会第六回全体会議コミュニケ	1
----------------------------	---

(二〇一六年十月二十七日、中国共産党第十八期中央委員会第六回全体会議にて採択)	
---	--

新しい情勢下の党内政治生活に関する若干の準則	25
------------------------	----

(二〇一六年十月二十七日、中国共産党第十八期中央委員会第六回全体会議にて採択)	
---	--

中国共産党党内監督条例	77
-------------	----

(二〇一六年十月二十七日、中国共産党第十八期中央委員会第六回全体会議にて採択)	
---	--

中国共産党第十八期中央委員会 第六回全体会議コミュニケ

(二〇一六年十月二十七日、中国共産党

第十八期中央委員会第六回全体会議にて採択)

中国共産党第十八期中央委員会第六回全体会議（以下、全会と略す）は二〇一六年十月二十四日から二十七日まで北京で開催された。

今回の全会には、中央委員一九七人と中央委員候補一五一人が出席した。また、中央規律検査委員会委員と関係部門の責任者がオブザーバーとして列席したほか、中国共産党第十八回全国代表大会（以下、第〇回全国代表大会は第〇回党大会と略す）の代表から一部の末端同志や専門家・学者もオブザーバーとして列席した。

全会は中央政治局が主宰し、習近平中央委員会総書記が重要講話を行った。

全会は、習近平総書記が中央政治局の委託を受けて行った活動報告を聴取・討論し、「新しい情勢下の党内政治生活に関する若干の準則」と「中国共産党党内監督条例」を審議・

採択し、「中国共産党第十九回全国代表大会開催に関する決議」を審議・採択した。習近平総書記は全会に対して「準則（討論稿）」と「条例（討論稿）」についての説明を行った。

全会は、中国共産党第十八期中央委員会第五回全体会議（以下、中央委員会第〇会全体会議は〇中全会と略す）以来の中央政治局の取り組みを十分に認め、次のような認識で一致した。中央政治局は、複雑な国際・国内情勢を前にして、中国の特色ある社会主義の偉大な旗印を高く掲げ、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論、「三つの代表」重要思想、科学的発展観を導きとし、第十八回党大会と十八期三中全会、四中全会、五中全会の精神を全面的に貫き、習近平総書記の一連の重要講話の精神と国政運営の新理念・新思想・新戦略を徹底的に貫いた。また、時代の大勢をつかみ、実践の要請に応え、全党、全国各民族人民を団結させ率い、心をつにして地道に取り組み、「五位一体（経済建設・政治建設・文化建設・社会建設・エコ文明建設）」の總体的配置を統一的に計画して推し進めるとともに、「四つの全面（①小康社会の全面的完成、②改革の全面的深化、③全面的な法に基づく国家統治、④全面的な厳しい党内統治）」の戦略的配

置をバランスよく推し進め、「両学一做（党規約・党規則と習近平総書記の一連の重要講話を学び、適格な党員となる）」学習教育を繰り広げ、改革の全面的深化、供給側の構造改革、国防・軍隊改革は大きな一步を踏み出し、党と国の諸活動で新たな、大きな進展がみられた。

全会は全面的な厳しい党内統治がおさめた成果を高く評価し、次のような認識に達した。第十八回党大会以来、習近平同志を核心とする党中央は、自ら実践し率先垂範して、全面的な厳しい党内統治を確固として推し進め、あくまで思想面での党建設と制度による党統治をしっかりと結びつけ、集中的に党風を整え、腐敗を厳しく処罰し、党内の政治生態を浄化してきた。これにより、党内政治生活に新しい気運が生まれて党員・大衆の心をつかみ、党と国の事業の新局面を切り開くための重要な保証となった。

全会は、わが党の党内政治生活の歴史的経験を総括した上で全面的な厳しい党内統治が直面している情勢と任務を分析し、次のような認識に達した。中国の事柄をしっかりと行うカギは党にあり、「党が党を管理し、厳しく治める」ことにある。党が党を管理する

には、党内政治生活から管理しなければならず、党を厳しく治めるには、党内政治生活から引き締めなければならない。多くの新しい歴史的特徴をもつ偉大な闘争をさらにしつつかりと繰り広げ、党建設の新しい偉大なプロジェクトおよび中国の特色ある社会主義の偉大な事業を推し進め、「四大試練（執政の試練、改革開放の試練、市場経済の試練、外部環境の試練）」に耐えぬき、「四つの危険（精神的な怠慢の危険、能力不足の危険、大衆から遊離する危険、消極腐敗の危険）」を克服するために、新しい情勢下の党内政治生活の準則を制定する必要がある。

全会は次のように強調した。新しい情勢の下で党内政治生活を強化・規範化するには、党規約を根本的な拠り所とし、党の政治路線、思想路線、組織路線、大衆路線を堅持して、党内政治生活の政治性・時代性・原則性・戦闘性の強化に力を入れ、党の自己浄化・自己改善・自己革新・自己向上の能力の強化に力を入れ、党の指導力・執政力レベルの向上、腐敗変質防止・リスク対応能力の強化に力を入れ、党中央の権威の擁護、党の團結・統一の保証、党の先進性と純潔性の維持に力を入れて、集中も民主も、自由も規律も、

統一された意志も個人ののびのびした気持ちもある、生き生きして活発な政治的局面を全党においてつくり出すよう努めなければならない。

全会はまた次のように強調した。新しい情勢の下で党内政治生活を強化・規範化する上での重点は各級の指導機関と指導幹部であり、カギは高級幹部——とくに中央委員会、中央政治局、中央政治局常務委員会のメンバー——である。高級幹部、とくに中央の指導層のメンバーは、自ら手本を示して、党規約・党規則を模範的に守り、党の政治規律と政治規則を厳格に守り、初心を忘れず引き続き前進することを堅持し、率先垂範して、広範な党員・幹部を導くことを堅持し、全党と全社会のための模範とならなければならない。

全会は次のように指摘した。共産主義の遠大な理想と中国の特色ある社会主義の共通の理想は、中国共産党員の精神的支えにして政治的魂であり、党の団結・統一を維持するための思想的基礎でもある。理想と信念を固めることを党内政治生活を送る上での最重要任務としなければならない。全党の同志はマルクス主義への信奉、社会主義と共産

主義への信念を終生貫いていかなければならない。中国の特色ある社会主義の道への自信・理論への自信・制度への自信・文化への自信を揺るぎないものにしなければならない。指導幹部、とくに高級幹部は、実際の行動で党員と大衆に理想と信念のもつ強大な力を感じ取らせなければならない。全党はいささかも揺るぐことなくマルクス主義の指導思想を堅持しなければならず、党の各級組織はたゆむことなく理論武装にしっかりと励まなければならず、広範な党員・幹部、とくに高級幹部は自らすすんで学習に取り組み、党性の修養を深めなければならない。

全会は次のように指摘した。社会主義の初級段階における党の基本路線は、党と国の生命線にして人民の幸福線であり、党内の政治生活を秩序正しく送るための根本的保証でもある。党の基本路線を全面的に貫徹・実行し、中国の特色ある社会主義の偉大な実践において、経済建設を中心とすることと四つの基本原則の堅持、改革開放の堅持という二つの基本点とを統一させなければならない、どんな時も基本路線からの逸脱や路線自体の動揺がいささかたりともあつてはならない。全党は発展という党の執政・興国の最

重要任務に一意専心取り組まなければならない。四つの基本原則を堅持する上で根本となるのは、党の指導、中国の特色ある社会主義の道・社会主義理論体系・社会主義制度・社会主義文化を堅持することである。理論の革新、実践の革新、制度の革新、文化の革新および他方面の革新を果敢に推し進め、対外開放の基本国策を揺るぐことなく実施しなければならない。党の思想路線の堅持を党の基本路線実行の全過程で貫き、実践の中で真理を検証し発展させ、マルクス主義の中国化を絶えず推し進めていかなければならない。幹部、とくに高級幹部の審査・識別にあたつては、何よりもまず党の基本路線を揺るぐことなく貫いているかどうかを見なければならない。黨員・幹部、とくに高級幹部は原則にかかわる重大問題を前にして態度を曖昧にしたり、基本的な政治的立場が揺らいだり、誤つた言論に惑わされたりしてはならない。

全会は次のように指摘した。党中央の權威を断固として守り、全党における指示の確実な実行を保証することは、党と国の前途と運命にかかわり、全国各民族人民の根本的利益にかなうことであり、党内政治生活の強化・規範化の重要な目的でもある。党の指

導を堅持する上で一番重要なのは、党中央の集中的・統一的指導を堅持することである。国・政党にとって指導的核心は極めて重要である。自覚をもつて思想的・政治的・行動的に党中央と高度の一致を保たなければならない。党の各級組織、全党員、とくに高級幹部は党中央と一致を保ち、党の理論と路線・方針・政策と一致を保ち、党中央の決めた活動計画と一致を保ち、党中央の提唱に断固応え、党中央の決定を断固実施し、党中央の禁止事項を断固守らなければならない。

全会は次のように指摘した。規律の厳正化は、全党が意志・行動を統一させ、歩調を合わせて前進する上での重要な保証であり、党内政治生活の重要な内容である。党の規律を厳正にし、規律を前面に押し出し、鉄の規律で党を厳しく治めなければならない。規律の前での一律平等を堅持しなければならない。規律の遵守・執行には特権や例外がない。規律の制約を受けない「特殊組織」や「特殊党员」が党内に存在することは決して許さない。党の各級組織とすべての党员は党に対し忠誠を尽くし、公明正大で、うそを言わず不正もやらず、正直な人間になって状況をありのまま党に報告しなければならない。

ない。二面的手口を使って「二面派」を演ずることに反対し、粉飾・欺瞞、虚偽報告・水増報告に反対し、実情を隠蔽して耳触りのいい事だけ報告することに反対しなければならぬ。指導機関と指導幹部は理由や名目のいかんにかかわらず、下級がうそを言うのを容認したり、下級にうそを言うよう強要・教唆・示唆したりしてはならない。党内では親密すぎる人間関係を築いたり、過度に褒め合ったり、ごますりをしたりしてはならない。指導者に対する宣伝は事実在即したものでなければならず、指導者個人を持ち上げるのを禁止する。党の各級組織は政治規律と政治規則の実施・維持責任を担わなければならない。規律の執行があまいという問題の発生を断固防止し、そうした問題が起こればならず、断固是正しなければならない。

全会は次のように指摘した。人民の中から生まれたわが党は、人民の擁護と支えがなければ、党の基盤を失ってしまう。誠心誠意人民に奉仕するという根本目的を堅持し、党と人民大衆との血肉のつながりを保つことを党内政治生活の強化・規範化の根本的要求としなければならない。全党は党の大衆路線を貫き、大衆のために実のある仕事や難

問解決に取り組み、人民の公僕としての務めを十分に果たさなければならぬ。人民に国政、要望、方策について尋ねることを堅持し、大衆の前で独善的に振舞ったり、居丈高な態度をとったりすることは決して許されず、役人風・旦那風を吹かせて大衆の苦しみに関心を示さないことは決して許されず、大衆を威圧し、大衆の利益を損なったり着服したりすることはなおさら許されない。形式主義・官僚主義・享楽主義・贅沢浪費の風潮に断固反対しなければならない。各級の指導幹部は末端の現場、大衆の実生活の現場まで赴き、条件が劣悪な地方、状況が複雑な地方、矛盾が際立った地方によく行って問題を解決し、さまざまな措置を講じて大衆の悩みや困難を解決しなければならない。人的・財的資源を浪費する「イメージづくりプロジェクト」や「業績づくりプロジェクト」を行った場合は、すべて厳しく問責・責任追及を行い、規律・法律に則って処罰しなければならない。

全会は次のように指摘した。民主集中制は党の根本的組織原則であり、正常な党内政治生活の重要な制度的保障である。集団指導制度を堅持し、集団指導と個人の責任分担

とを結びつけることは、民主集中制の重要な構成部分であり、それを終始堅持しなければならない。いかなる組織や個人も、状況・理由のいかんを問わず、この制度に違反することは許されない。各級の党委員会(党组)は集団指導制度を堅持しなければならない。指導グループのメンバーは大局観を磨き、責任意識を強めなければならない。党委員会(党组)の主要責任者は民主を發揚し、集中を適切に実行し、果敢に責任を担わなければならない。指導グループのメンバーは党組織の決定を揺るぐことなく実施しなければならない。

全会は次のように指摘した。党内民主は党の生命であり、積極的かつ健全な党内政治生活の重要な基礎である。党内での政策決定、執行、監督などの活動は党規約・党規則に規定されている民主原則と手続きに従って行い、いかなる党組織・個人も党内民主を抑圧し、破壊してはならない。中央委員会、中央政治局、中央政治局常務委員会および党の各級委員会は重要な政策決定・配置を行うにあたっては、突っ込んだ調査研究を繰り広げ、各方面の意見と提案を幅広く聴取しなければならない。党員の主体的地位を尊